

平成29年度 保護者用学校評価 結果 (187名)

※達成率(%)=(A+B)÷全体×100

No.	項目	回答数					達成率	考察
		A	B	C	D	無		
1	本校は子どもたちの学力を伸ばそうと努力している。	A: 106 B: 70 C: 4 D: 0 無: 7	94.1	全教諭による校内研究テーマに基づいた一人一授業の実施で授業改善に取り組むと共に、じんぶんタイムや基礎基本の定着時間等の学力向上推進計画による結果と考える。				
2	本校はいじめや暴力がない学校づくりに努力している。	A: 63 B: 90 C: 17 D: 1 無: 16	81.8	全職員による「いじめ防止リーフレット」の確認や月1回の「おしえてアンケート」の実施によって早期対応や児童支援委員会にて共通確認の下、全職員で対応をしている。				
3	本校は子どもたちのことについて適切に相談に応じている。	A: 62 B: 94 C: 11 D: 2 無: 18	83.4	年3回の「教育週間」や「個人面談」の実施、放課後の保護者との面談、電話にて子どもの困り感に関する相談を積極的に行うようにしている。				
4	本校は子どもたちのあいさつの指導に努力している。	A: 120 B: 62 C: 3 D: 0 無: 2	97.3	毎朝の「あいさつ運動」、児童会の「あいさつカード」の取り組みや昨年度からスタートした「オアシス運動」の展開で日常的に指導を行っている。				
5	本校は子ども達に基本的な生活習慣が身につくよう努力している。	A: 88 B: 85 C: 7 D: 2 無: 5	92.5	生活リズムアンケートの実施をし、その結果の分析から本校の課題を見出し「じんぶんだより」にて家庭との連携を図りつつ、改善を促した。				
6	本校は子ども達の健康の維持と体力向上に努力している。	A: 61 B: 102 C: 16 D: 2 無: 6	87.2	本校児童の課題の一つであるため、今後も「マラソン・なわとび」等子どもたちの健康維持と体力向上に取り組み改善を図るように努める。				
7	本校は子ども達の安全を守るために努力している。	A: 104 B: 74 C: 3 D: 1 無: 5	95.2	毎月の安全点検の実施による危険箇所の早期発見と修繕に努めている。不審者情報についてはメルボンでの早急な周知と那覇署との連携等今後も安全指導に取り組んでいく。				
8	本校は清掃や環境美化に努力している。	A: 129 B: 55 C: 3 D: 0 無: 0	98.4	朝の清掃活動や日々の清掃活動、GMCの方々や地域の方と共に「環境美化活動」に取り組んでいる。				
9	本校は学校の情報をホームページ・学校・学年・学級便り等で適切に伝えている。	A: 107 B: 70 C: 5 D: 0 無: 5	94.7	学校・学年・学級・保健・図書・給食・学力推進等のだよりやホームページの更新(週2回程度)による情報の発信をしている。				
10	本校はPTAや地域と連携して教育活動を行っている。	A: 116 B: 55 C: 5 D: 0 無: 11	91.4	GMCの方々の活動や旗頭保存会の皆様による子ども旗頭のご指導等、PTAや地域の自治会等と連携した実践を進めている。特に、今年度は70周年記念事業での取り組みを行い連携を密にした。				
11	私は学校行事や授業参観、PTA行事などに可能な限り参加している。	A: 64 B: 97 C: 24 D: 1 無: 1	86.1	8割以上の保護者が、学校行事・授業参観・PTA行事(学年レク・PTA作業)等に参加し協力的である。				
12	家庭では、子どもが家庭学習ができるように努力している。	A: 73 B: 100 C: 13 D: 1 無: 0	92.5	「生活リズムアンケート」からも帰宅してすぐの家庭学習、家庭学習時間確保のためテレビ・ゲーム等の時間の約束等に、家庭でも取り組んでいる成果と考える。				
13	家庭では、親子で読書をしている。	A: 32 B: 65 C: 64 D: 25 無: 1	51.9	親子で読書に親しんでいる家庭は5割であり、親子で読書をする大切さを毎月第3日曜日の「ファミリー読書の日」の活用を「図書だより」にて意識を高めていきたい。				
14	家庭では、子どもが望ましい生活習慣が身につくよう努力している。	A: 79 B: 91 C: 13 D: 3 無: 1	90.9	望ましい生活習慣が身につくよう努力している家庭が、9割と高い割合になっており、各家庭の取り組みが素晴らしいと感じる。				
15	私は、常に子どもとのコミュニケーションを大事にし、相互理解に努めている。	A: 99 B: 86 C: 2 D: 0 無: 0	98.9	親子のコミュニケーションを大切にしている家庭が、ほとんどであり家庭の意識が非常に高く、親子の相互理解に努めていることがわかり、大変理想的である。				